

No. 2-7

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 02 - 7

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		8		作成日		30年 6月 29日			
事務事業名		新産業創造推進事業						シート作成部署					
総合計画上の位置付け	基本施策	5 賑わうまち						課名	政策課		係名	新産業創造P	
		5-1 働きがいのあるまちをつくる						シート作成者					
	施策	5-1-1 農業の振興						予算費目	会計		一般		
									款		6		
主要施策	③地域特産物の開発						項		1				
							目		3				
個別計画名													
住民との関わり		住民団体・行政との共催事業・イベント											
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）								
	住民、事業者、在勤者				付加価値の高い農産物の導入や現在行われている土地利用型農業で生産される作物の付加価値を高め、収益性の高い農業経営を実現し、農業を魅力ある産業に育てる。								
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		「儲かる農業」の推進により、町の特産品の創出など、農業の産業化や農業に付随した産業を展開し、地域資源を活かした交流・集客を拡大し、雇用・就業機会の創出を図る。											
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度（年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし									
根拠法令・要綱等													
		平成28年度（決算）			平成29年度（決算）			平成30年度（予算）					
全体事業費（千円）A+B		0			339			12,498					
財源内訳	国庫支出金		0			0			0				
	県支出金		0			0			0				
	地方債		0			0			0				
	その他特定財源		0			0			0				
	一般財源		0			339			1,278				
直接事業費（千円）A		0			339			1,278					
人件費（千円）B		0			0			11,220					
内訳	一般職員（人・千円）		0.00 人		0		0.00 人		0		1.70 人		11,220
	臨時職員（人・千円）		0.00 人		0		0.00 人		0		0.00 人		0
成果指標	成果指標名				単位	29年度		30年度		31年度			
						目標	実績	（目標）		（目標）			
	①												
	②												
③													
説明	現在、町内の農産物及びその加工品の市場性等の検証により、事業の実現可能性を模索している段階であるため成果目標の設定が困難である。												

事業名	新産業創造推進事業	シート作成課	政策課
-----	-----------	--------	-----

一次評価者	政策課長	二次評価者	総務部長
-------	------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明		
	一次	二次			
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。</li> <li>2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。</li> <li>3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。</li> <li>4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。</li> <li>5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。</li> <li>6. 国や県のサービスと重複している。</li> <li>7. 民間のサービスと競合している。</li> <li>8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	稲作に変わる付加価値の高い農産物の開発を行うことは、必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。</li> <li>2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。</li> <li>3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。</li> <li>4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	新しい農産物の開発については、専門となる事業者の支援が有効である。	
達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。</li> <li>2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。</li> <li>3. 概ね目標を達成していると思う。</li> <li>4. 十分に目標を達成していると思う。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	新しい農産物の開発に向けて、取組んでいる段階である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。</li> <li>2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。</li> <li>3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。</li> <li>4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。</li> <li>5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。</li> <li>6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。</li> <li>7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	専門家の支援により、生産、販売の展開の可能性の高い大豆での研究に取り組んでいるので、効率性は高いものと考えている。	

本事務事業の実施適切性の説明

「農業を核としたまちづくり」を推進するため、先進的農業の視察研修及び大豆の6次産業化事業実施に向け、技術や販売実績を有する企業並びに町内農業法人2社と町が連携し、事業を開始しました。その一環として、平成30年2月23日（金）から25日（日）の3日間イオンモール東員店において町内産大豆で製品化した豆乳・豆腐・ドーナツの試食PRを実施し、延べ2,000人の来場がありました。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	2	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
	今後の改革・改善目標	技術や販売実績を有する企業等との連携により、町内での新しい大豆の生産を目指し、更に販売まで事業展開を目指します。					

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	2	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
	コメント	新規の事業でありいくつかのハードルがあると思いますが、将来の新産業の創設に向けて、取り組んでいただきたいと思っております。					

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--